

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くら・らほ多機能型事業所（重心）		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出や体験活動を取り入れ、多職種との連携を図りながら安全確保に努めている。	外出時のリスク管理や医療的配慮について事前確認を行い統一した支援方針のもと一人ひとりの状態に合わせて支援を行っている。	地域資源や公共交通機関を活用して社会参加の機会を広げる。
2	小規模保育所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、高齢者施設等あり、他児(者)交流が図れる。	世代間交流を大事にしており、年間を通して季節の行事を計画し交流を図る。	交流の対象を広げていく。
3	多職種連携によるチーム支援。	専門性を活かした役割分担で、「できない」ではなく「どうすればできるか」を考える。	事例検討や研修を通じて専門性を高め、チーム支援体制の強化を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースが十分に広いわけではないので、バギー等を置く場所。	屋根付きのテラスや当日に使用していない空間に移動させて、スペースの確保に努めている。	適宜工夫をしながら、スペースの確保に努めていく。
2	一般的なトイレの為、利用児によって使用する際、高すぎることもある。	設計の段階でそこまでの配慮がなされていなかった。	利用児に合わせて、足台、補助便座をセットし使用している。
3	浴室と脱衣場の寒暖差がある。	事前暖房の徹底と、浴室ドアの開閉時間の調整。	職員配置を徹底し更衣時間を短縮する。また、早めに暖房をかけ、浴室ドアの開閉時間を調整する。